

八丈高校 園芸科 通信

2020年5月18日

‘目には青葉 山ほととぎす 初鯉’
5月中旬になり、新緑も濃くなり暑くなってきました。
園芸科のみなさん、お元気ですか？
八高園芸科の作物もすくすく成長しています。
園芸科では、引き続き先生たちが、授業再開に向けて
農場の作業を続行中です。

今回は草花の様子をお伝えします。



細かい種子(インパチエンス、ペチュニアなど)はばらまきしました。



少し大きな種子(サルビア、ビンカなど)はすじまきをしました。

一年草の播種(たねまき)

4月にインパチエンス、サルビア(スプレデンズ、ファリナセア、コクシネア)、ビンカ、ペチュニアなどを、5月にジニア、センニチコウ、フロックス、キバナコスモス、ルドベキアなどを播種しました。



手前はペチュニア、奥はインパチエンスです。



サルビア・ファリナセアです。

発芽し成長した苗

播種後順調に発芽し、それぞれ本葉が3~4枚となりました。そろそろ鉢上げの適期となります。



ガーベラです。順調に生育し、開花しています。



スターチスです。開花が進み色とりどりの花が咲いています。

切り花の様子

切り花は、ロックウール栽培のガーベラ、カーネーションが順調に開花しています。土耕栽培では、ストック、キンギョソウの出荷が終わり、スターチスが盛りです。これからトルコギキョウの開花が始まります。

その他の草花の様子

シンビジウム、コチョウラン、カトレア類などの洋ランは、株分けや鉢替えを行っています。コチョウランは花もそろそろ終わりますが、無菌播種に向けて人工授粉を行いました。花木、観葉植物なども植え替え、株分けなどの作業を行っています。

